



オナガガモ号

侍従川と私

相川 元治

我が家は侍従川の岸边にあり、そのロケーションからも川との深いかわりを持っています。

まず古い話ですが、明治の頃は我が家では船を利用して荷物の運搬をしていたようで、現在は侍従川の改修で姿を消してしまいましたが、侍従川の石垣には船着場の跡が残っていました。なぜこのように侍従川で船が利用できたのか今の方は疑問に思うかも知れませんが、大正12年の関東大震災で侍従川は80cmも隆起したと聞いていますので、今より水深も大分深く船の往来が出来たと思います。

その侍従川は、私の子どもの頃(昭和20年代)は本当に素晴らしい遊び場でした。現在の泥牛橋あたりは水草が生え、ハヤやフナがたくさん居ました。また侍従川は昭和40年代の改修前は川幅も今より4mも狭く護岸も全て石垣ではなく、土手のままのところも多くあり自然に恵まれていました。

我が家のあたりは先ほど述べましたように石垣で、その石垣の隙間にはうなぎがいたようです。



オナガガモ

学名 *Anas acuta*

尾が長いから「尾長鴨」というストレートなネーミング。

冬になると北の方からやってくる。

は比較的大型で、茶色、灰色、白を基調とした...地味な配色ながら落ち着いてなかなかキレイなカモであると思う。 一回り小さく茶色を基調とした地味な色。

侍従川で見られたのはここ数年で、以前は野島あたりでしか見られなかった。

肉はマガモよりは不味とされる(食べたが獣肉に近い感じだった)

解説：山田(陽)

うなぎの採り方は、うなぎ針という長い大きな釣り針に糸をつけ、50cmくらいの細い竹竿の先にその針を取り付け、針には餌としてミミズをつけ、石垣の隙間にその竿を差し込んで採っていたようです。残念ながら私は一度も釣れたことはありませんでしたが釣れた人もいました。

もう一つは「カイボリ」と呼んで石垣に対し「コの字形」に土や石で土手を作って囲み、水を堰き止め、囲った土手の中の水をバケツなどで掻き出すと、水の無くなった石垣の中からフナや泥鰌^{どじょう}等が出てきてそれを捕ることが出来たのです。私は良く覚えていませんがカイボリの最大の目的は「メリュー」と呼んだうなぎの稚魚を捕ることだったそうで、沢山のメリューが捕れたようです。今だったらこのメリューは高く売れたかもしれませんが、池で飼ったりして自然消滅していたようです。

この他に私の一番の思い出は、我が家には叔父が作ってくれた2m強の木製の小船があり、それを上潮になると漕ぎ出して遊んだことです。下流に下って遠くは京急逗子線の鉄橋近くまで下って行くのです。川辺には多くのギャラリーが見ており子ども心にも得意だったようです。また上潮ですからイナ^{ぼら}(鰻の子どもをイナと呼んでいます)が群れを作っていましたのでその群れに向かって手製のモリ(ヤス)を投げイナを捕ったことを覚えています。その他に船には小型のライトを取り付け、暗くなった時のため明かりが点くようにしていました。

とにもかくにも私が子どもの頃の侍従川は絶好の遊び場で、魚捕りや昆虫捕りの毎日で勉強はそっちのけの毎日を楽しく過ごしたことを思い出します。

報告

12月7日(日)、長浜ホールに於いてガールスカウト神奈川県第53団30周年記念式典があり、侍従会代表(?)で参加しました。53団とは、水の日をはじめ、区内におけるイベントでよく会う団で、活動場所は宮川です。お互い『川』という共通の活動場所があり、情報交換しています。

今回の式典には、その日頃のパートナーに対しての意味で他団体と共に感謝状をいただきました。(竹内)



大道小侍従川清掃

【活動報告その1】

9月16日(火)

記)山田(陽)

9/16に大道小学校全児童による「侍従川クリーン大作戦」が行われました。

出発前に全児童の前でお手伝いの紹介があり、たくさんのPTAの方々と、侍従会の長野副会長、中山副会長に山田(陽)が挨拶をしました。

学年ごとにエリアを分けての活動...ゴミを一所懸命拾ったり、魚を見つけたり捕まえて嬉しそうな子もいたり...晴天に恵まれ、気持ちよく川に入ることができました。

お疲れ様でした。



9月クリーンアップ

【活動報告その2】

9月28日(日)9:00~11:00

於:大道東橋~山王橋

記)細川

参加者:長野、中山、西澤、八木場、村田、山田(隆)、細川(7名)

残暑が多少感じられる9月の末、長島橋の前後を中心に草刈りを行いました。

特に長島橋の蔦は川端の家の庭木に覆いかぶさり、更に小さいとげがあるため刈り取る際には、手や顔に沢山の擦り傷が出来てしまいました。

最後に冷たい飲み物を飲み解散しました。

トピックス

- 9/7:金沢グリーン探検隊in侍従川に山田(陽)が講師として参加。
- 11/8:第16回なかよしかもめまつりに侍従川水族館(蛇コーナー)出展。
竹内が対応
- 11/17:六浦小3年生がまち探検の延長で侍従川で生き物やゴミ、流速調べ。
山田(陽)が対応
- 11/17:瀬ヶ崎小5・6年生に侍従川の源流から海までを山田(陽)がレクチャー
- 11/18:瀬ヶ崎小6年生がフェスティバルで侍従川水族館展示の準備のために侍従川で魚捕り。山田(陽)が対応

ハゼ釣り大会

【活動報告その3】10月5日(日) 9:

00~13:00 於: 汐見橋付近、川町内会館

記) 山田(隆)

暖かな日差しの中、小学生以下4人、小学生9人、中学生6人、大学生&専門学校生4人、大人12人の総勢35人の参加がありました。釣ざおを竹にするというユニークさがあったのか、自前のさおはほっぽりだして、竹ざおで釣る人も。(竹は細川さんが自宅から切り出してくれました) とりたてをテンプラにして頂いた味は格別でした。



見てみて!
釣れたよー!



やられた~

奮闘するお父さん、
子どもたち。額には
汗がにじむ。

はぜの天ぷら
淡白で美味!!
でした!

魚のさばき方を
関さんから教わる。
真剣なまなざし。



釣ったはぜですが、200匹はあったで
しょうか。最後の1匹まで子どもたちが
根気良く、さばいたのでした。

参加者：熊井、佐野、成島、金子、金野、鈴木、
山田(陽)

10/25(土)に侍従川魚とりを行いました。
参加者は少なかったのですが、精鋭ぞろいで侍従
川へ。

最初は下流の生き物を採集。とれたのは、ボラ、
マハゼ、ウロハゼ、チチブ、テナガエビ、ユビナガ
スジエビ、ニホンスナモグリ、チゴガニ、ヤマトオ
サガニ、アシハラガニ、クロベンケイガニ、マガキ、
コウロエンカワヒバリガイでした。

続いて、中流域へ...とれたのは、ウナギ(久しぶ
り!)大きなフナ(フナの採集も久しぶり)、チチ
ブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ピリンゴ、メダカ、
ヒバカリ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ...

午後からは、大道コミュニティハウスの文化祭に
侍従川ミニ水族館を出展しました。

午前中にとれた魚に、大道小の侍従川水族館のク
サガメ、モツゴ、コイを借りて展示したところ、文
化祭に来た人たちが興味深く見ていきました。侍従
川にこれだけ生き物がいるということにビックリ
する人や、川で遊んだ思い出話をしてくれる人...

侍従川水族館でいろんな人に侍従川のよさをPR
できたと思います。



金澤水の日 侍従川水族館

10月26日(日) 於：野島研修センター

【活動報告その5】

記)竹内

10月26日(日)、野島公園内に於いて第15回金澤水の日が、開催されました。今年も実行委員長でした。昨年と違い今年は天候にも恵まれ展示物集めも順調に出来、スタッフもかなり納得の展示が出来ました。今年は展示エリアを山側に変更、お客さんの流れが気になりましたが、生き物展示は好評でした。場所も大事だけど質、量、レイアウトですね。

川に住む生き物、その回りに住む生き物、自分達が取り組んでいるもの等を展示しました。比較する展示が無いのが残念ですが、何処にも負けない展示だと思います。来年も開催すると思います、よろしければ参加、いやスタッフとして一緒に展示してみませんか。



10月クリーンアップ

10月26日(日) 9:00~11:30 於：山王橋~大道橋

【活動報告その6】

記)細川

参加者：相川、長野、中山、長橋、西澤、曾根、八木場、村田、細川(9名)

待望の倉庫の置き場所がちとせ園に確定し、当日は清掃班と倉庫の組み立て班に分かれ作業を行いました。

清掃・草刈り班はちとせ園を中心に下流は山王橋、上流は大道橋の手前まで活動しました。

倉庫の組み立ては曾根さんを中心に水準器で水平を出し、約2時間ほどで完成しました。

幅1.9m×奥行9.45m×高さ1.4mの倉庫の中に早速、草刈り機を格納し、所有者名を倉庫の横に記入しました。



イラスト 有加里

大師高校 侍従川体験授業

【活動報告その7】

10月30日(木) 10:00~11:30

於: ちとせ園

記) 熊井

11月31日 秋も深まるこの日は川崎市の大師高校から来た1年生の生徒さん達の体験学習授業の講師を務めさせていただきました。相川会長の挨拶に始まり、長野副会長の侍従川での思い出話に続きました。その後、ちとせ園の階段から侍従川へと入り、講師である私が、砂泥網で川の生き物の採り方をレクチャー致しました。

生徒のみなさんにはとても楽しんで頂けたようで、中には大きな魚を採って笑顔を見せていました。

今後もこれをご縁に侍従川と大師高校の生徒さん達が繋がって行けるよう、会の活動が維持していかれるよう努力して行きたいと思いました。

今回の反省点としては伝達不備による準備不足でスムーズに行えなかった部分があり、大師高校の方々にご迷惑をおかけしたと思います。今後はもっとしっかりと打ち合わせをしたうえで臨みたいと思います。

11月クリーンアップ

【活動報告その8】

11月23日(日) 9:00~12:00

於: 大道橋(横浜屋)~青木橋(青木製作所)

記) 細川

参加者: 長野、中山、長橋、西澤、八木場、村田、角田、外川、細川(9名)

草刈り機が無事見つかリ、何ヶ月振りかのお出ましとなりました。

夏の間伸び切った草を西澤さんが名人技で草刈り機を操リダイナミックに刈り取ります。

その周りを鎌を持った人たちがせっせと草を刈り取り、束ねて行きます。

暑くも無く寒くも無い絶好の清掃日和となり、作業がどんどんはかどります。

途中10分ほどの休憩を入れ約3時間の作業となり、見る見るうちに川がきれいになって行きました。

12時頃に終了し、1杯のみに行くグループ、銀杏を拾いに行くグループと別れて解散しました。



大道小からは職員と6年生、侍従会からは相川会長、中山副会長、外川、外川友人、五十嵐(朝比奈小ホタル池守り隊) 竹内、山田、佐野、成島、(以下学生部) 金子、金野、鈴木が参加しました。あいさつをしてから、各自やりたい仕事に分かれて活動を開始しました。草刈り、井戸整備、看板づくり、ベンチづくりを2時間ほど行いました。池の中に溜まったヘドロや落ち葉をとりのぞく作業もしました。



また、6年生の女の子たちが一生懸命ザリガニをさがしていました。ザリガニを救出して、ザリガニ用のすみかを作ってあげるそうです。なかなか見つからずに苦戦していましたが、寒空の下、一生懸命網をいれる姿が印象的でした。作業後に豚汁をみんなで食べてお開きとなりました。終了後は、学生部の調査を行いました。

トピックス

横浜金澤観光アクション2008(主催 金沢区役所)に侍従川水族館を出展。

竹内、山田(陽)が対応

いるか丘陵フォーラムの資料に侍従川いかだ川下りを紹介。

島村真衣ちゃん(小田中学校3年生)の夏休みの自由研究「侍従川の生き物調査」が横浜市立学校総合文化祭 第54回横浜市立中学校生徒科学作品展に出展されました。



『ふるさと侍従川 ～いり川・いり川づくりワークショップに参加して～』佐野 真吾

9月27日、28日と東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された『いり川・いり川づくりワークショップ』に侍従会のメンバーとして参加してきました。結果は・・・

正直、全国から集まった他団体の発表には驚きました。どの団体も、いり川・いり川づくりワークショップで発表するために本気で臨んできているのだと感じました。全国の川に打ち負かされた気分帰宅した私は、自分が子どもの頃からずっと見てきた侍従川についてよく考えてみました。

「自分は今まで侍従川をどう見てきたのだろうか?」「今の自分には侍従川はどう映っているのだろうか?」そして考えた末に頭に浮かんだのは、全国の川への対抗心でも落胆でもなく、『ふるさと侍従川』という会の名前にもなっている言葉でした。



私にとって侍従川の最も自慢すべきところは、侍従川流域では、胸まである胴長を履き、大きな捕虫網にタモ網、バケツを持って歩いていても周りの人に変な目で見られないというところ。普通、都市河川で大の大人が網を持って歩いていたら不審な目で見られるでしょう。場合によっては注目的になるかもしれません。しかし、侍従川でそんなことはありません。むしろ近所の方々が魚やヘビの情報を教えに来てくれたりします。

しかし、このようになったのにも訳があります。15年前、侍従会が発足して以来、意識の高い会員のみなさんをはじめ、流域の小・中学校や市民の方々と共に侍従川で活動してきました。そして川清掃やイカダ下り、葦船作り、月一回の生物調査など、川と親しむ15年間の活動が網やバケツを持っている人を珍しがらない町にしたのではないかと思います。侍従川は温かな町があつての侍従川なのです。

侍従川は私にとって少年時代を過ごした『ふるさと』です。例え都市河川であっても、子どもの頃遊んだ場所はふるさとなのだと思います。また、侍従川は私の人生に大きな影響を与えた場所でもあります。侍従会でたくさんの人と出会い学んだことが視野を広げるきっかけになりました。今私が自分の生き物に関する知識や経験を環境保全や保護に活かしたいと思えるようになったのも元をたどれば、侍従川での活動から出会った方々や自然体験の影響なのだと思います。

『侍従川は海・川・森、自然と人、そして人と人をつなぐ川』と会員のみなさんがよく言います。私もその意味がようやく分かりました。いり川はいり町によってでき、人と人をつなぎ、子どもを育む。そしてまたいり川といり町が続いていく。「ふるさと侍従川に親しむ会」という名前にはきっとこんな意味が込められているのでしょうか。侍従川は本当にいり川です。そしてこれからの世代の子どもたちにとっても『ふるさと侍従川』になっていくよう活動を続けていきたいです。

侍従川生き物図鑑 No.4

ミヤマフキバツタ 深山踏飛蝗 イナゴ科



朝比奈にて 08.08.18 撮影：熊井

体長：22～35ミリ

見られる場所：侍従川源流域の林

翅が退化しているので成虫になっても空を飛ぶことが出来ないバツタの仲間です。幼虫は5月頃から現れ、7月頃成虫になります。12月頃まで姿を見ることが出来ますが、冬は越しません。

似た種類にヤマトフキバツタがいますが、こちらはやや大型で、背中の翅が長く左右重なるなどの違いがあります。両方とも同じ場所に生息しています。



一齡幼虫 08.05.15 撮影：熊井

監修) 熊井

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~ 新入生歓迎遠足 ~

2000年4月。僕は中学校に入学しました。新たな授業や友達、また部活動など、小学校とは異なる新たな生活の始まりです。生活も少し慣れ始めた頃『タクマ』というクラスメートと友達になりました。体格がよくゴツイイメージの彼はある日自分も侍従会の会員だと言いました。そして、「佐野君さ。侍従会の新入生歓迎遠足行く？俺も行くから行こうぜ！」はて歓迎遠足(?)。それから数日後の夜に学生部隊長の山田さんから電話があり遠足を誘われ、結局新入生歓迎遠足ということだけで詳しいことや場所もよく分からないまま参加することが決定しました。

4月中旬のとある土曜日の朝、僕たちは京急三崎口を目指して電車に乗っていました。メンバーは高校生3人、中学生7人に山田さんで11人です。ちなみに新入生は僕とタクマ二人…。僕は小学生の時から参加していたタクマと違って初参加だったので少し緊張気味でした。しかし高校生のシュウヘイ君や中学3年生のジョウジ君が声をかけてくれたこともあり打ち解けることができました。遠足の目的地には10時半くらいに到着しました。目的地というのは三浦半島の水戸浜という海です。メンバーはそれぞれシュノーケリングをしたり、浜辺でバック転の練習をしたり自由に遊び始めました。僕はタクマと釣りをしました。遊んでいるうちにお昼になり焚火を作り釣った魚(ベラ)を食べました。ワンパクだったジョウジ君がサラダ油を口に含んで焚火に向かって吹き炎上させていたのをよく覚えています。そして時間はあっという間に過ぎ4時くらいに退散を始めました。

しかし！帰り道学生部一行は恐怖に襲われたのです。偶然通りかかった家から何頭ものドーベルマン(恐ろしい獵犬?)が飛び出してきたのです。最初に悲鳴をあげたのはタクマでした。幸い犬たちは飼い主の指示ですぐに綱に繋がれましたが、タクマは怯えるばかりです。『おいタクマ行くぞ！』『さっ佐野君先行けよ…前歩けよ！』『お前デカイ図体して犬が怖いのか？』『うるせえ怖いんじゃねえよ苦手なんだよ！』『…』

こうしてこの日は無事帰還しました。サバイバルで野人的な侍従会学生部に少し驚きながらも次の活動が楽しみになりました。



イラスト 佐野



それゆけ

激突！山田くん

完全復活！？

～対 動物編～



「ニホンマムシ」の巻（続き）

「あっ！」よそ見をしていたらマムシのアタックを受けてしまった。咬まれるというよりは、口を180°近くに広げ、そのまま牙で刺す...といった感じだった。

痛みは全くなくて、左手の人差し指には2つの牙の跡があるのみだった。そして、だんだん腫れてきた...

最初にしたのは...写真を撮ることだった。貴重な事例だ。しっかり記録しておかねば...
「先生！写真撮ってください。」とカメラを持っていた先生にお願いする。咬まれた人差し指を見せるようにして...はいち～ず！パシャッ

先生が「大丈夫ですか！！手当てしましょうか」と、慌てたように言ったのだが、学校から持ってきた救急セットには蛇咬傷に役にたつものがないのがわかったので、「あ、いいです」と断り、マムシの入ったペットボトルを置いて、子どもたちと魚とりを始める。下流から上流から...縦横無尽に駆けずり回り魚を捕る。いっぱい捕れて満足だ...ふと左手を見るとさっきより腫れてきていた。



さて、学校に戻る時間になったのだが、子どもたちがべったりくっついていたので、山道の上り下りのきつい道を何人もの子どもを引っ張って歩く形になった...「ふ～、いい運動だ」...なんて余裕はなく、かなり血のめぐりがよくなったからマムシの毒もよく回ったかな?...ちょっと不安になる。学校につくと...

（続く）

この会報は、会のホームページ(http://www.sora-iro.net/~hirose/furusato_jijyu/)から見ることができます。

侍従川定例調査報告 学生部

11月29日(土) 曇りのち晴れ

大潮 満潮 6:26(179cm)16:49(185cm) 干潮11:34(103cm)23:48(11cm)
参加者：佐野、成島、金子、山田(陽) (計4人)

【汐見橋】(下流域) 12:24

気温：15 水温：18 Ph：8.0 塩分濃度：9

生き物：マガキ(多数)、コウロエンカワヒバリガイ(3)、
ホソウミニナ(多数)、イソコツブムシ(3)、
ユビナガスジエビ(18)、カクベンケイガニ(1)、
チチュウカイミドリガニ死骸(1)マハゼ(2)、
ヒドリガモ(8)、ホシハジロ(4)、カワウ(1)、
キンクロハジロ(2)



【長島橋】(中流域) 14:00

気温：15 水温：14 Ph：8.5 塩分濃度：0

生き物：ハグロトンボ(2)、ヤマサナエ(3)、
マルタンヤンマ(1)、シオカラトンボ(2)、
ミゾレヌマエビ(17)、テナガエビ(4)、メダカ(6)、
チチブ(30)、マハゼ(2)、ピリンゴ(3)、
ウキゴリ(3)、スミウキゴリ(2)



【大道中学校 大道溪谷】(源流域) 15:41

気温：13 水温：15 Ph：7.5

塩分濃度：0

生き物：カワニナ(13)、オオシオカラトンボ(2)、
コシアキトンボ(2)、メダカ(16)、
ホトケドジョウ(26)

生き物種名の後の()内は数量



侍従川ニュース

11/28、侍従川の山王橋付近の一部住民と神奈川県横浜治水事務所職員との視察がおこなわれました（侍従会からは会長が参加）。

住民から「草が生えて見栄えが悪いので草刈りをしてほしい ゴミが引っかかっているから掃除してほしい 土砂が堆積していて洪水が心配。」との要望があったことを受けての実施でした。

先の3つの要望に対して、治水事務所からの返答は「草刈りを、業者に頼んで12月中旬に中野橋～長嶋橋で実施する（側面は木以外は刈らない） ゴミ拾いは草刈りと同時に実施 土砂を削るに関しては、侍従川の基本計画が策定されてないので、策定してから着手するか決める（着手するまで最低でも10年はかかる）。」でした。

侍従会から治水事務所に「どのぐらいの雨量で洪水が起こり、堆積した土砂がどのぐらい影響するのか算出してほしい 侍従会が“もう一度子どもが遊べる川に”をスローガンに15年間、調査や川づくり、子どもたちに川を通した体験的教育活動を行ってきたのを知っているか？ 近隣の小学校（大道、六浦、瀬ヶ崎...かつては朝比奈、高舟台も）や大師高校が教材として侍従川を活用していることを知っているか？」と聞いたところ、「そのことに関しては知っています」との返答でした。

草刈りに関しては「今の時期なら問題ない 葦は葦船に使うから刈らないでほしい ヤナギは切らないでほしい」と同席した土木業者に話し、承諾してもらいました。

治水事務所に「基本計画の策定に侍従会からの意見は反映するか」と聞いたところ、「反映します」との治水事務所からの返答がありました。治水事務所からは、「○治水 ○利水 ○環境」を考慮した基本計画になることを補足説明されました。

侍従会として、今後...

○治水事務所など、関係行政機関との連携をはかっていく

○地域（住民、自治会、学校）への啓発...情報発信と連携

○侍従川 川づくり部会の立ち上げと侍従川マスタープランの作成をはかっていく必要があると思われます。

事務局だより

事務局運営委員 長橋

忘年会の報告

ふるさと侍従川に親しむ会の忘年会が、2008年12月7日午後5時から、追浜駅近くの「うれしたのし屋」で行われました。出席者は20名でした。大道小学校からは、龍山副校長、伊藤先生、小助川先生、押田先生が出席され、この1年間の活動を振り返りながら、楽しく、和やかに過ごすことが出来ました。2009年も張り切っていきましょう。

長野さん喜寿のお祝い

会の副会長である長野政治さんは、2009年2月で77歳を迎えられる予定です。昔からこの77歳は人生の節目としてお祝いする習慣があります。侍従会においてもこの長野政治さんの喜寿を祝おうと、12月7日の忘年会でお祝いをしました。77歳を迎えられる長野さんはますます元気で、「今後も侍従会の活動でがんばるぞ!」と言っておられました。本当におめでとうございます。



侍従会の物置設置

横浜市の協力により、「ちとせ園」に「侍従川水辺愛護会」の名称で物置を設置することが出来ました。この物置は、主にクリーンアップの用途に使われます。物置利用希望者は細川さんが主に管理しているので、細川さんにご相談ください。

クリーンアップの集合場所が変更になりました

クリーンアップの時の集合場所は、今までは大道小学校にしておりましたが、倉庫が設置された「ちとせ園」に変更されました。クリーンアップの集合は「午前9時にちとせ園」ということをお願いいたします。



葦船「横浜丸」建造開始

1月24日から葦刈りを始めて4月中旬予定の「進水式」まで、今年もがんばりましょう。今後の予定は以下のとおりです。

『国際横浜葦船学校』大道小学校・ふるさと侍従川に親しむ会 共催

- ヨシ選別・束づくり1 / 3 1 (土) 9:00 ~ 15:00
 - ヨシ選別・束づくり2 / 1 (日) 9:00 ~ 15:00
 - 葦船建造2 / 7 (土) 9:00 ~ 16:00
 - 葦船建造・完成2 / 8 (日) 9:00 ~ 16:00
- } いずれも大道小学校にて

○進水式・乗船会4 / 1 9 (日) 9:00 ~ 14:00 予備日4 / 2 6 (日)

1月以降の活動予定

- 1月24日(土) ネイチャークラフト教室~つるとり&かご作り
9:00 大道小学校集合
- 1月25日(日) クリーンアップ 9:00 「ちとせ園」集合
- 2月22日(日) クリーンアップ 9:00 「ちとせ園」集合
- 2月28日(土) 第4回こどもエコフォーラム 9:00 ~ 15:00
会場：青葉区公会堂 ワークショップに出展予定
- 3月22日(日) クリーンアップ 9:00 「ちとせ園」集合
- 3月29日(日) 第24回 横浜の水辺と緑を考える子ども会議
会場：舞岡中学校 詳細は後日

学生部 侍従川定例調査

- 1 / 2 5 (日) 13:00 大道小学校集合
- 2 / 2 2 (日) 13:00 大道小学校集合
- 3 / 2 2 (日) 13:00 大道小学校集合

編集後記

2008年もあとわずかとなりました。
今年侍従会発足15周年。節目の年でした。
来年はどんな年になるのでしょうか。
みなさんどうぞ良いお年を迎えください。

(MK)

